

富山県鋳工業生産の動き

～平成28年(2016年)4月分～

年間補正・季節指数の再計算により平成27年1月以降の数値を更新しました。

総合指数

平成22年(2010年)=100、季節調整済

| | 28年4月 | 前月比 (%) | 前年同月比 (%) |
|------|-------|---------|-----------|
| 生産指数 | 116.3 | 16.1 | 14.5 |
| 在庫指数 | 130.2 | ▲1.9 | ▲0.6 |

- 1 **生産指数** (季節調整済指数) は 116.3 と前月に比べ 16.1%の上昇となり、2ヵ月連続で上昇した(図表)。これは 13 業種中、**化学工業、金属製品工業、はん用・生産用・業務用機械工業**など6業種が上昇したことによる。なお、**低下した業種は電気機械工業、非鉄金属工業、パルプ・紙・紙加工品工業**など7業種である。
- 業種別にみると、**化学工業は医薬品**などの増加により**同 61.4%の上昇**で 288.2 となり、**金属製品工業は同 4.4%の上昇**で 104.6 となった。他方、**電気機械工業は同▲11.1%**で 47.4 となり、**非鉄金属工業は同▲4.9%**で 93.9 となった。
- また、**前年同月比 (原指数) は 14.5%の上昇**となり、2ヵ月連続で前年を上回った。
- なお、13 業種中、平成 22 年基準の指数 100 を上回っている業種は、**化学工業(288.2)、輸送機械工業(146.0)**などの**5業種**となっている。

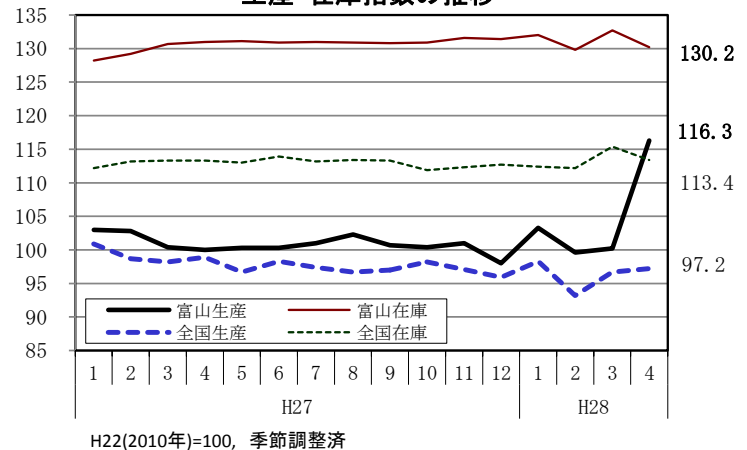
- 2 **在庫指数** (季節調整済指数) は 130.2 と前月に比べ▲1.9%となり、2ヵ月ぶりに低下した(図表)。これは 13 業種中、**化学工業、鉄鋼業**など**8業種**が低下したことによる。なお、**上昇した業種はプラスチック製品工業、食品工業**など**4業種**である。また、**輸送機械工業**が横ばいとなった。
- また、**前年同月比 (原指数) は▲0.6%**となり、**31ヵ月ぶりに前年を下回った**。

指数の動き

平成22年(2010年)=100、季節調整済指数

| | | 富山県 | | 全国 | |
|-------|-----|--------------|--------------|-------------|--------------|
| | | 生産指数 | 在庫指数 | 生産指数 | 在庫指数 |
| 平成27年 | 1月 | 103.0 | 128.2 | 100.9 | 112.2 |
| | 2月 | 102.8 | 129.2 | 98.7 | 113.2 |
| | 3月 | 100.4 | 130.7 | 98.2 | 113.3 |
| | 4月 | 100.0 | 131.0 | 98.9 | 113.3 |
| | 5月 | 100.3 | 131.1 | 96.7 | 113.0 |
| | 6月 | 100.3 | 130.9 | 98.3 | 113.9 |
| | 7月 | 101.0 | 131.0 | 97.4 | 113.2 |
| | 8月 | 102.3 | 130.9 | 96.7 | 113.4 |
| | 9月 | 100.7 | 130.8 | 97.0 | 113.3 |
| | 10月 | 100.4 | 130.9 | 98.2 | 111.9 |
| | 11月 | 101.0 | 131.6 | 97.1 | 112.3 |
| | 12月 | 98.0 | 131.4 | 95.9 | 112.7 |
| 平成28年 | 1月 | 103.3 | 132.0 | 98.3 | 112.4 |
| | 2月 | 99.6 | 129.8 | 93.2 | 112.2 |
| | 3月 | 100.2 | 132.7 | 96.7 | 115.4 |
| | 4月 | 116.3 | 130.2 | 97.2 | 113.4 |

生産・在庫指数の推移



□ 次回公表予定日：平成28年7月25日(月)

□ 「富山県鋳工業生産の動き」は、HP「とやま統計ワールド」でご覧になれます。

<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>

平成28年4月分 業種別の主な動向

※ ウェイトは10000分比で算出

※ 業種は寄与度(全体に与える影響)の大きいものを掲載

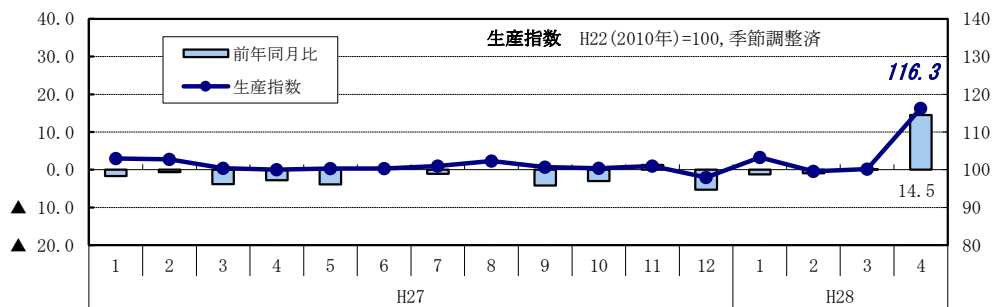
<生産>〔指数116.3(前月比 16.1%)〕

↑ 上昇した業種(6業種)

| 主な業種 | ウェイト | 指数 | 前月比(%) | 寄与した主な品目 | 前年同月比(%) |
|-----------------|--------|-------|--------|----------|----------|
| 化学工業 | 1495.7 | 288.2 | 61.4 | 医薬品など | 77.0 |
| 金属製品工業 | 892.4 | 104.6 | 4.4 | | ▲2.8 |
| はん用・生産用・業務用機械工業 | 1347.1 | 99.5 | 2.8 | | ▲11.8 |

↓ 低下した業種(7業種)

| 主な業種 | ウェイト | 指数 | 前月比(%) | 寄与した主な品目 | 前年同月比(%) |
|--------------|--------|------|--------|----------|----------|
| 電気機械工業 | 2247.2 | 47.4 | ▲11.1 | | ▲12.6 |
| 非鉄金属工業 | 795.6 | 93.9 | ▲4.9 | | ▲7.3 |
| パルプ・紙・紙加工品工業 | 316.9 | 98.4 | ▲4.7 | | ▲1.3 |



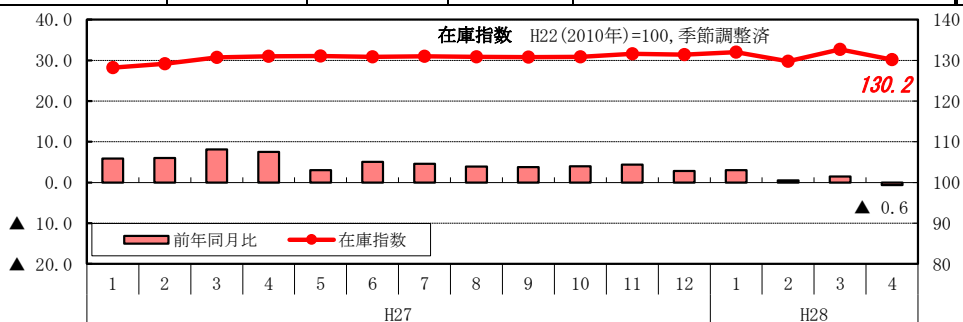
<在庫>〔指数130.2(前月比 ▲1.9%)〕

↓ 低下した業種(8業種)

| 主な業種 | ウェイト | 指数 | 前月比(%) | 寄与した主な品目 | 前年同月比(%) |
|--------|--------|-------|--------|----------|----------|
| 化学工業 | 2727.9 | 168.6 | ▲3.2 | 医薬品など | ▲0.4 |
| 鉄鋼業 | 719.2 | 71.3 | ▲8.9 | | ▲7.7 |
| 電気機械工業 | 374.5 | 319.4 | ▲1.6 | | 8.3 |

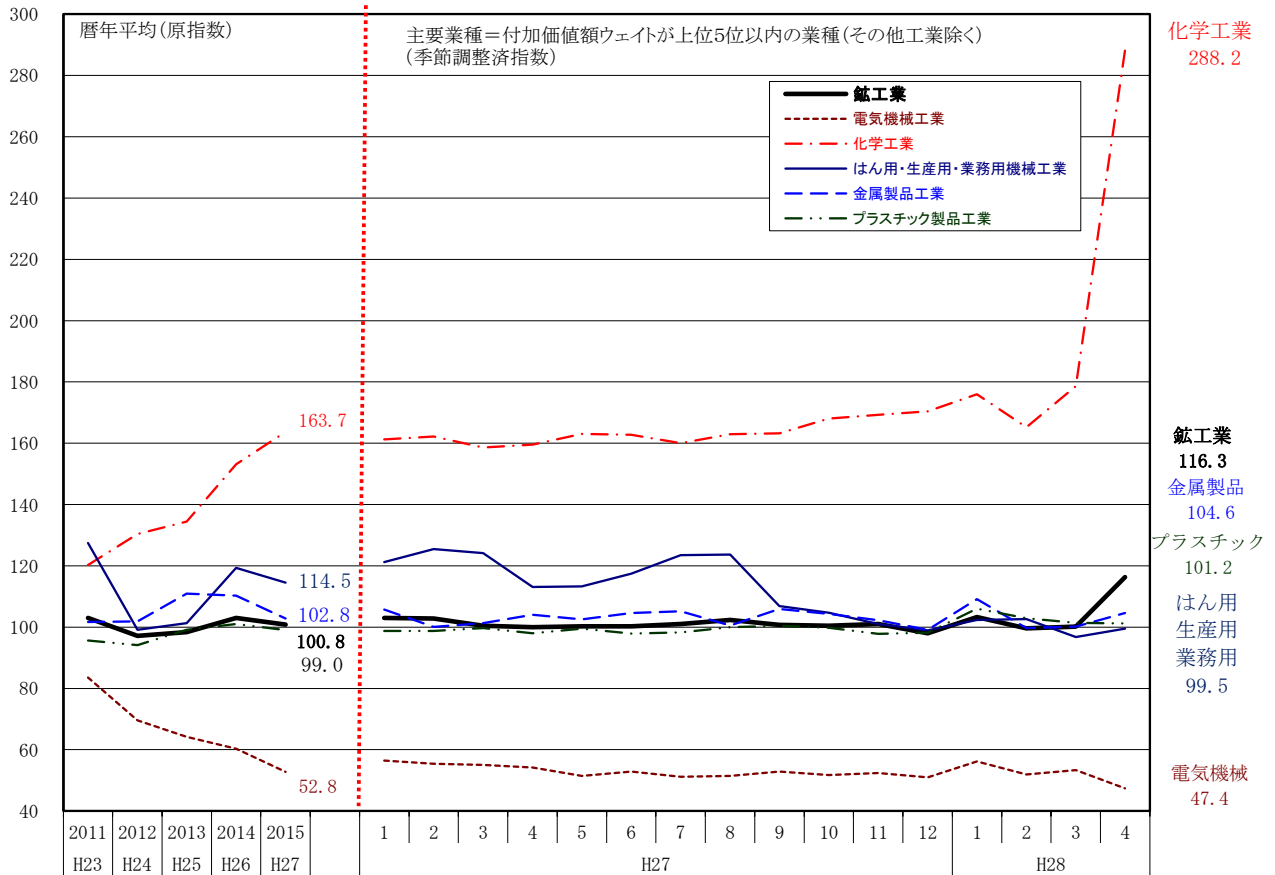
↑ 上昇した業種(4業種)

| 主な業種 | ウェイト | 指数 | 前月比(%) | 寄与した主な品目 | 前年同月比(%) |
|-----------------|--------|-------|--------|----------|----------|
| プラスチック製品工業 | 942.9 | 136.6 | 4.2 | 日用品雑貨など | 14.6 |
| 食料品工業 | 649.2 | 81.4 | 4.0 | 飲料など | ▲1.6 |
| はん用・生産用・業務用機械工業 | 1462.6 | 130.2 | 1.3 | | ▲7.8 |



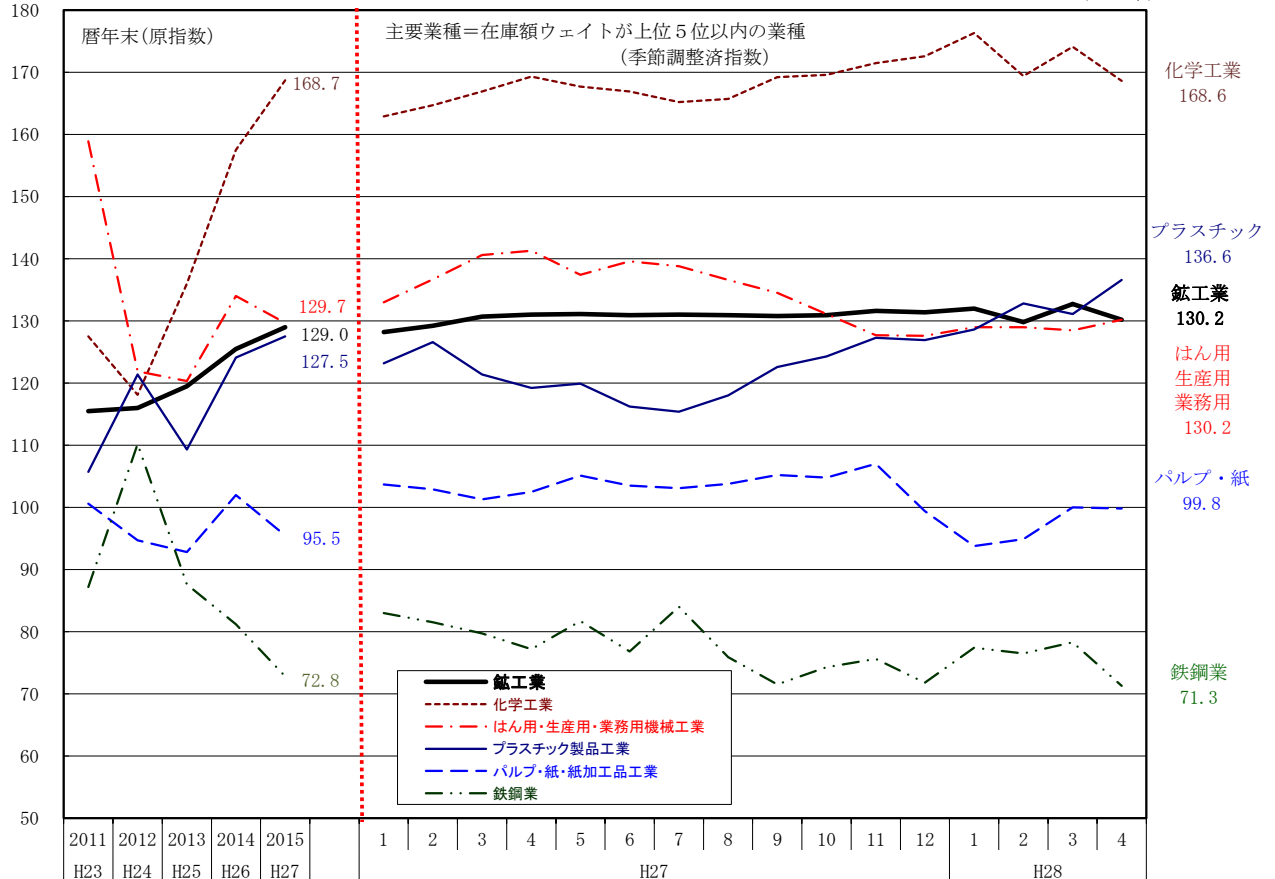
主要業種別生産指数の推移(富山県)

H22(2010年)=100



主要業種別在庫指数の推移(富山県)

H22(2010年)=100



鉱工業指数利用者のために（利用上の注意）

1 作成目的

鉱工業の生産及び在庫状況を数量的に調査し、富山県における鉱工業の動向を総合的に把握することを目的とする。鉱工業指数とは、一定地域内における月々の鉱工業生産量及び在庫量を、ある一定時期を基準にして指数化したものである。

2 基準時及びウェイト算定年次

指数の基準時は平成22年(2010年)である。したがって、指数値は平成22年の平均を100.0とした比率で示されている。また、ウェイトも平成22年の産業構造により作成されている。平成22年基準は、平成25年11月25日に公表し、同年9月分指数から適用するとともに、平成20年(2008年)まで遡及計算を行っている。

3 分類

分類は、日本標準産業中分類(若干の組み替えを行っている)に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類(財別)」の2つの分類による。

4 指数の種類及び採用品目数

| | 採用品目数 | | | | ウェイト 算定基準 |
|-----------|-------|------|----|---------|--------------|
| | 計 | 製造工業 | 鉱業 | 電力・ガス事業 | |
| 生産指数 | 189 | 187 | 0 | 2 | 付加価値額 |
| 生産者製品在庫指数 | 117 | 116 | 0 | 1 | 在庫額 |

- ・生産指数(付加価値額ウェイト)⇒生産活動の生産水準の動き
- ・生産者製品在庫指数⇒生産製品が出荷されずに生産者段階に残っている在庫の動き
- ※ 受注生産等で在庫を把握する必要がないものや、在庫の把握が極めて困難で数値が得られない品目があるため、生産者製品在庫指数の採用品目数は、生産指数より少ない。特殊分類は、財用途が2財にわたる(1品目)ものはウェイトを分割して各財毎に集計しているため、業種分類と特殊分類では採用品目数が一致していない。
- また、採用単位は、製品数量単位及び製品固有単位を基本としている。

5 総合指数の算式

総合指数の算式は、品目別指数を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法(ラスパイレス算式)による。具体的には次のとおり。

$$I_t = \frac{\sum P_{i0} Q_{it}}{\sum P_{i0} Q_{i0}} = \sum \frac{P_{i0} Q_{i0}}{\sum P_{i0} Q_{i0}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{i0}} \right] = \sum \frac{W_{i0}}{\sum W_{i0}} \times \left[\frac{Q_{it}}{Q_{i0}} \right]$$

I_t …t時点の総合指数

P_{i0} …品目別平成22年平均単価(生産指数は品目別平成22年平均付加価値単価)

Q_{i0} …品目別平成22年1ヶ月平均数量(基準数量)

Q_{it} …品目別比較時数量

W_{i0} …品目別平成22年ウェイト(ウェイトは鉱工業に対する万分比)

6 季節調整方法

センサス局法(X-12-ARIMA)を採用

季節調整済指数=原指数÷(季節・曜日・祝祭日・うるう年指数)

※ 在庫指数の場合、()内は季節指数のみ。

※ 平成28年1月以降の季節指数は、平成27年の季節指数を適用している。

7 その他

本書記載の数値を転載するときは、「富山県鉱工業生産の動き」による旨を明記してください。この月報の前月公表値が修正報告により若干変更されている場合があります。内容についてのお問い合わせは、下記あてにお願いします。

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号
富山県 経営管理部 統計調査課 商工係
Tel:076-444-3193(直通)